

監護相当・生計費の負担についての確認書

児童の兄姉等(H14.4.2生～18.4.1生)を監護し、生活費を負担している場合は提出

護相当・

記

ふりがな 氏名 かがみの さくらこ 鏡野 桜子		生年月日 平成 17 年 6 月 10 日 令和			住所 鏡野町竹田660番地 かがみのコーポA201号室		
個人番号 1 2 3 4 5 6 × × × × × × × ×	続柄 子	職業等 (いずれかに○) ※ 学生 ○ 無職 〃 その他	通学先 (学生の場合のみ) 〇〇大学 等	卒業予定時期 (学生の場合のみ) 令和 10 年 3 月	申立人による監護相当の状況 (いずれかに○) 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他 ()		申立人による生計費の負担の状況 (該当するものすべてに○) 1.生活費 (食費、家賃等) 2.学費 3.その他 ()
ふりがな 氏名		平成 令和	職業等 学生 〃 無職 〃 その他		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他 ()	1.生活費 (食費、家賃等) 2.学費 3.その他 ()
ふりがな 氏名		平成 令和	職業等 学生 〃 無職 〃 その他		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他 ()	1.生活費 (食費、家賃等) 2.学費 3.その他 ()

学生がアルバイト等している場合は、「学生」を選択。それ以外で就労している場合は「その他」を選択。

学生の場合のみ、通学先と卒業予定時期を記入する。

該当するいずれか一つを選択する。「同居・別居」は住民票上ではなく、実態によること。「その他」は上2つと異なる場合に選択し、()内に詳細を記入する。

該当するもの全てを選択、「その他」を選択した場合は、()内に詳細を記入する。

以下に掲げる者については、監護相当に該当しないため注意してください。

- ① 児童福祉法に規定する延長者
- ② 児童自立生活援助を受けているもの(2か月以内の期間を定めて行われる援助を除く。)
- ③ 母子生活支援施設、障害児入所施設、指定発達支援医療機関、障害者支援施設、救護施設、厚生施設、日常生活支援住居施設又は女性生活支援施設に入所又は入院しているもの(2か月以内の期間を定めて行われる入所を除き、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のみで構成する世帯に属する者に限る。)

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 6 年 10 月 ××日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)
住所 鏡野町竹田660番地 かがみのコーポA201号室

氏名 鏡野 太郎

※支給改定年月 R6年10月	※審査	※受付印
※次年度現況届 有・無	記入しないでください	

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。